

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 2月 12日

事業所名 株式会社りあん 児童発達支援・放課後等デイサービスりあん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			規定に基づき行っている。
	2	職員の配置数は適切である	8			規定に基づき行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	4	机の角などはカバーをして防止しています	規定に基づき行っている。段差などはあるが利用者に対する配慮は行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		はじめは遊具などいつでも使えるように置いていたが、ひとりあそび・集団遊びとけじめがつけられるよう余計なものは一切置かず必要に応じて取り出し出来るようにした	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2		利用者に関して気づいたことは職員会議等で積極的に話し合っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	5		保護者の方からいただいた意見を活動に取り組んでいる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		6		今回から掲示等でお知らせし周知していただく予定です。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5	モニタリング等をもとに職員間で支援会議を行っています	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		県などが行う研修会に人の偏りがなく受講できるように配慮されている	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		個々に合ったアセスメントツールを検討し進めている。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		子どもの変化は学校や保護者も交えて相談する機会を設けている。相談の詳細は職員間で分かりやすいよう情報共有する。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		職員全員で考えています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		季節の行事や児童からの意見も聞きながら活動内容を工夫している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	7		微細運動、粗大運動など(指先・体幹)今の状況に合わせた取り組みが出来るように作成している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	3		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	活動日誌を通して職員間で共有できている	活動前の朝礼を通して活動内容や支援方法を確認し合っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1		市役所などの機関を通して指示を受け実施している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	1		市役所などの機関を通して指示を受け実施している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		受け入れの際には、事前に連絡をし情報提供を頂いています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2		受け入れの際には、事前に連絡をし情報提供を頂いています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6		課外活動を通して交流の場を設けています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		三重県や桑名市での交流会などは参加し、貴重なご意見は職員間で共有しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		今日一日の取組みを写真に収め、迎え時家族に状況を知らせ継続できることを家でもやってもらおう等行っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	1	5		研修会等の参加し学び今後行っていきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		相談支援事業所から出された支援計画をもとに、今児にとって必要なことなど親と確認し、説明しながら了解を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		送迎時、親御さんとお話する機会を設けている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		保護者も参加できる行事を企画し、保護者同士の交流を図る機会も多く作っていききたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		連絡帳や送迎時会った時に不安なこと等聞く機会があれば、職員間で話をするようにしている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4		FacebookやHPを通して公開しております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		地域の交流も積極的に行っていききたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	2		職員誰が見てもわかりやすいようなマニュアルを作成中です。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	3		今後実施予定です。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		保護者を通じて対応させていただいております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			